



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社中村超硬 上場取引所 東
コード番号 6166 URL <http://www.nakamura-gp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田植 啓之 (TEL) 072-274-0007
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	880	36.5	2	—	8	—	3	—
2024年3月期第1四半期	644	△42.5	△88	—	△87	—	△108	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 6百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △113百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	0.32	—
2024年3月期第1四半期	△9.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,745	859	14.8
2024年3月期	6,003	854	14.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 848百万円 2024年3月期 842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,550	30.1	△20	—	△30	—	△70	—	△6.35
通期	3,300	36.8	110	—	80	—	20	△86.1	1.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	11,020,900株	2024年3月期	11,020,900株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1株	2024年3月期	1株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	11,020,899株	2024年3月期1Q	11,020,900株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更により行動制限が緩和されたことで社会経済活動の正常化が進んだことに加え、インバウンド需要の回復もあり、緩やかな回復傾向となりました。しかしながら世界経済においては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、中東地域における地政学リスクの高まり、世界的な金融引き締めや中国経済停滞の長期化など、依然として厳しい状況にあります。またこれらの影響による円安基調や原材料・エネルギーコストの高止まりも継続しており、わが国経済を取り巻く世界情勢は、予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、特殊精密機器事業においては前期から引き続き工作機械業界や電子部品業界が低調に推移したことにより、耐摩耗工具関連分野及び実装機用ノズルの受注が落ち込むこととなりました。しかしながら、化学繊維用紡糸ノズル事業においては炭素繊維用ノズルの受注が好調に推移したとともに、D-N e x t 事業においては、パワー半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤの新規顧客開拓や顧客内シェア拡大の進捗により、受注が好調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は880百万円（前年同期比36.5%増）、営業利益は200百万円（前年同期は88百万円の営業損失）、経常利益は8百万円（前年同期は87百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3百万円（前年同期は108百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 特殊精密機器事業

特殊精密機器事業については、商社を活用した自動車部品メーカーからの受注拡大や、新規顧客である大手ベアリングメーカーからの受注獲得、新素材で製作した実装機用ノズルの受注開始等の成果はあったものの、工作機械業界や電子部品業界が低調であった影響を受け、耐摩耗工具関連分野及び実装機用ノズルの売上が落ち込み、厳しい事業環境が継続しております。

これらの結果、売上高は185百万円（前年同期比10.2%減）、セグメント利益は0百万円（前年同期比98.3%減）となりました。

② 化学繊維用紡糸ノズル事業

化学繊維用紡糸ノズル事業については、不織布関連ノズルの需要が前期に引き続き低調に推移したものの、風力発電用ブレード向けを中心とした炭素繊維用ノズルの旺盛な需要により、受注・売上ともに好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は635百万円（前年同期比51.0%増）、セグメント利益は55百万円（前年同期比174.2%増）となりました。

③ D-N e x t 事業

D-N e x t 事業については、当社製のパワー半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤを正式採用する企業が着実に増加し、国内大手企業を中心に量産採用が進んでおります。また顧客内シェアの拡大も順調に進捗しており、販売数量は着実に増加しております。なお、ダイヤモンドワイヤ製造装置販売については、インドにおける太陽電池の自国内生産化の進捗が遅れが生じているため、商談は長期化する見込みであり、当第1四半期連結累計期間における契約締結に向けた商談の進捗はございませんでした。

これらの結果、売上高は57百万円（前年同期比251.3%増）、セグメント損失は33百万円（前年同期は82百万円のセグメント損失）となりました。

④ マテリアルサイエンス事業

新規事業として取り組んでいるナノサイズゼオライトについて、顧客やエンドユーザーにおける量産採用に向けた評価が継続しており、2025年度における量産開始に向け着実に進捗しているとともに、新たな顧客や用途分野の開拓を目指したサンプル提供を継続するとともに、展示会出展をはじめとしたナノサイズゼオライトの認知度向上に取り組んでおります。

これらの結果、売上高は1百万円（前年同期比31.0%増）、セグメント損失は31百万円（前年同期は42百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産

現金及び預金が135百万円増加したものの、その他流動資産のうち未収消費税が230百万円減少、商品及び製品が87百万円減少、仕掛品が37百万円減少等により、総資産は前連結会計年度末に比べ257百万円減少し5,745百万円となりました。

② 負債

契約負債が99百万円減少、電子記録債務が96百万円減少、長期借入金が58百万円減少したこと等により、負債は前連結会計年度末に比べ262百万円減少し4,886百万円となりました。

③ 純資産

利益剰余金が3百万円増加したこと等により、純資産は前連結会計年度末に比べ4百万円増加し859百万円となりました。

この結果、自己資本比率は14.8%（前連結会計年度末は14.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日付決算短信において、当期の連結業績予想数値を公表しておりますが、その際に記載した予想数値策定における前提条件から大幅な変更が見られないため、従前の予想数値を据え置くことといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,495,324	1,630,653
受取手形及び売掛金	306,679	321,501
電子記録債権	68,962	58,607
商品及び製品	134,610	46,928
仕掛品	475,322	438,028
原材料及び貯蔵品	132,270	141,130
その他	301,373	73,553
流動資産合計	2,914,543	2,710,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	994,315	980,257
機械装置及び運搬具(純額)	1,382,428	1,347,612
土地	614,882	614,882
その他(純額)	53,830	51,121
有形固定資産合計	3,045,457	2,993,874
無形固定資産	13,506	12,298
投資その他の資産		
投資その他の資産	64,003	63,220
貸倒引当金	△33,923	△33,923
投資その他の資産合計	30,080	29,296
固定資産合計	3,089,043	3,035,469
資産合計	6,003,587	5,745,872

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,946	91,113
電子記録債務	194,831	98,723
前受金	186,666	186,666
契約負債	341,142	241,507
短期借入金	2,040,000	2,040,000
1年内返済予定の長期借入金	233,317	233,317
リース債務	24,082	24,056
未払法人税等	10,344	7,082
賞与引当金	68,579	24,176
受注損失引当金	25,781	44,398
その他	146,279	159,817
流動負債合計	3,339,972	3,150,860
固定負債		
長期借入金	791,689	733,360
リース債務	91,826	85,887
退職給付に係る負債	240,147	242,443
資産除去債務	50,069	50,246
その他	634,977	623,858
固定負債合計	1,808,710	1,735,797
負債合計	5,148,682	4,886,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	349,042	349,042
資本剰余金	299,042	299,042
利益剰余金	215,362	218,882
自己株式	△0	△0
株主資本合計	863,447	866,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△590	△648
繰延ヘッジ損益	△1,591	△1,483
為替換算調整勘定	△18,910	△16,305
その他の包括利益累計額合計	△21,093	△18,437
新株予約権	12,550	10,684
非支配株主持分	-	-
純資産合計	854,904	859,214
負債純資産合計	6,003,587	5,745,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	644,930	880,010
売上原価	489,556	685,066
売上総利益	155,374	194,943
販売費及び一般管理費	243,406	192,935
営業利益又は営業損失(△)	△88,031	2,008
営業外収益		
受取利息	22	26
受取配当金	25	18
助成金収入	1,071	21
為替差益	7,979	2,131
補助金収入	-	12,156
その他	636	1,398
営業外収益合計	9,735	15,752
営業外費用		
支払利息	8,663	8,652
その他	950	868
営業外費用合計	9,613	9,521
経常利益又は経常損失(△)	△87,910	8,239
特別利益		
新株予約権戻入益	678	1,865
特別利益合計	678	1,865
特別損失		
固定資産除却損	-	0
減損損失	190	6,294
訴訟関連費用	19,373	-
特別損失合計	19,564	6,294
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△106,795	3,810
法人税、住民税及び事業税	264	5,229
法人税等調整額	1,929	△4,939
法人税等合計	2,193	290
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△108,989	3,520
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△108,989	3,520

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△108,989	3,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	△57
繰延ヘッジ損益	△1,275	108
為替換算調整勘定	△3,098	2,604
その他の包括利益合計	△4,338	2,655
四半期包括利益	△113,327	6,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△113,327	6,175
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注)1 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	206,415	420,625	16,458	1,431	644,930	—	644,930
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17,462	—	—	—	17,462	△17,462	—
計	223,877	420,625	16,458	1,431	662,392	△17,462	644,930
セグメント利益 又は損失(△)	11,356	20,414	△82,949	△42,017	△93,195	5,163	△88,031

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「化学繊維用紡糸ノズル事業」において、新工場の建設及び大型メルトブローンノズル・ダイ製造設備の取得に伴い、固定資産が増加しました。これにより前連結会計年度の末日に比べ、「化学繊維用紡糸ノズル事業」のセグメント資産が、1,817,557千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額	合計額
減損損失	190	—	—	—	190	—	190

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注) 1 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	185,297	635,025	57,812	1,875	880,010	—	880,010
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,858	—	—	—	1,858	△1,858	—
計	187,156	635,025	57,812	1,875	881,869	△1,858	880,010
セグメント利益 又は損失(△)	189	55,970	△33,362	△31,471	△8,673	10,682	2,008

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注) 1	合計額
減損損失	—	—	5,129	—	5,129	1,165	6,294

(注) 1 調整額の金額は、すべて共用資産に係る金額であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	21,588千円	54,941千円